

## チリ政治情勢報告（２月）

平成30年2月

### 1. 概要

- （１）内政では、ピネラ次期政権の次官や州知事についての発表が行われた。
- （２）外交では、バチェレ大統領が訪日し、首脳会談、共同記者会見、日本・チリ・パートナーシップ・プログラム2030への署名、長崎訪問、天皇陛下御会見等が実施された。

### 2. 内政

#### （１）ピネラ次期政権次官の発表

2月は当国の夏期休暇期間にあたり、大統領・閣僚・政府関係者らも休暇を取得し、国会も閉会することから、通常はあまり大きな内政上の動きは見られないが、本年は大統領就任式を3月11日に控え、ピネラ次期政権における主要人事が相次いで発表された。閣僚名簿は既に1月に発表され、2月に入り各省次官名簿が公表、続いて州知事任命についても発表があった。ピネラ次期政権下の各省次官は以下のとおり。

なお、今般外務次官に任命されたアルフォンソ・シルバ氏は、元々は職業外交官であり、ピネラ第一次政権の際にも外務次官を務めた人物。

- 内務次官：ロドリゴ・ウビージャ・マケネイ (Rodrigo Ubilla Mackenney )
- 外務次官：アルフォンソ・シルバ・ナバロ (Alfonso Silva Navarro)
- 地域開発・管理次官 (Desarrollo Regional y administrativo)：フェリペ・サラベリ・ソト (Felipe Salaberry Soto)
- 犯罪防止次官 (Prevención del Delito)：カテリン・マルトレル・アワード (Katherine Martorell Awad) ◎
- 国防次官：クリスティアン・デ・ラ・マサ・リケルメ (Cristian de la Maza Riquelme)
- 海軍陸軍次官：ファン・フランシスコ・ガリ・バシリ (Juan Francisco Galli Basili)
- 財務次官：フランシスコ・モレノ・グスマン (Francisco Moreno Guzmán)
- 大統領府次官：クラウディオ・アルバラド・アンドラーデ (Claudio Alvarado Andrade)
- 内閣官房次官：エマルド・ハンテルマン・ゴドイ (Eduino Hantelmann Godoy)
- 経済・中小企業次官 (Economía y Empresas de Menor Tamaño)：イグナシオ・ゲレーロ・トロ (Ignacio Guerrero Toro)
- 水産・漁業次官：エドゥアルド・リケルメ・ポルティージャ (Eduardo Riquelme Portilla)
- 観光次官：モニカ・サラケット・サイド (Mónica Zalaquett Said) ◎
- 社会評価次官 (Evaluación Social)：アレハンドラ・カンディア・ディアス (Alejandra Candia Díaz) ◎
- 社会サービス次官 (Servicios Sociales)：セバスティアン・ビジャリアル・バルデット

(Sebastián Villareal Bardet)

- 児童担当次官 (Niñez) : カロル・バウン・セプルベダ (Carol Bown Sepúlveda) ◎ 【新設】
  - 教育次官 : ラウル・フェゲロア・サラス (Raúl Figueroa Salas)
  - 就学前教育次官 : マリア・ホセ・カストロ・ロハス (María José Castro Rojas) ◎
  - 法務次官 : ファン・ホセ・オッサ・サンタクルス (Juan José Ossa Santa Cruz)
  - 人権次官 : ロレーナ・レカバレン・シルバ (Lorena Recabarren Silva) ◎
  - 労働次官 : フェルナンド・アラブ・ベルドゥーゴ (Fernando Arab Verdugo)
  - 社会対策次官 : マリア・ホセ・サルディーバル・ラライン (María José Zaldívar Larraín) ◎
  - 公共事業次官 : ルカス・パラシオス・コバルビラス (Lucas Palacios Covarrubias)
  - 公共保健次官 (Salud Pública) : パウラ・ダサ・ナルボナ (Paula Daza Narbona) ◎
  - 社会支援次官 (Redes Asistenciales) : ファン・マヌエル・トソ・ロヨラ (Juan Manuel Toso Loyola)
  - 住宅・都市計画次官 : ギジェルモ・ロランド・ビセンテ (Guillermo Rolando Vicente)
  - 農業次官 : アルフォンソ・バルガス・リング (Alfonso Vargas Lyng)
  - 鉱業次官 : パブロ・テラーサス・ラゴス (Pablo Terrazas Lagos)
  - 運輸次官 : ホセ・ルイス・ドミンゲス・コバルビラス (José Luis Domínguez Covarrubias)
  - 通信次官 : パメラ・ヒディ・マシアス (Pamela Gidi Masias) ◎
  - 国有財産次官 : アレハンドラ・ブラボ・イダルゴ (Alejandra Bravo Hidalgo) ◎
  - エネルギー次官 : リカルド・イララサバル・サンチェス (Ricardo Irarrázabal Sánchez)
  - 環境次官 : ロドリゴ・ベニテス・ウレタ (Rodrigo Benítez Ureta)
  - スポーツ次官 : カエル・ベセーラ・ロハス (Kael Becerra Rojas)
  - 女性・ジェンダー平等次官 : カロリーナ・クエバス・メリーノ (Carolina Cuevas Merino) ◎
  - 文化・芸術次官 : ファン・カルロス・シルバ・アルドゥナーテ (Juan Carlos Silva Aldunate)
- 注 : ◎は女性

### 3. 外交

#### (1) パチエレ大統領訪日

22日から26日にかけて、パチエレ大統領は訪日し、首脳会談、天皇陛下御会見、長崎訪問等が行われたところ、チリ大統領府及び外務省プレスリリースの概要は以下の通り。(ムニョス外務大臣、スケジャ・スポーツ大臣同行)

#### ア 日チリ企業関係者との会合

23日、パチエレ大統領は日チリ企業関係者との会合に参加した。「バ」大統領は、演説の中で、日本はチリの4番目の貿易相手国であることを強調し、日チリEPA発効以降、物・サービス貿易の

自由化や輸出の多様化をしたことは重要であり、日チリ間貿易は2017年に約84億米ドルを達した、と述べた。また、日本は多国間関係でも重要な同盟国であり、両国はCOP21、核拡散防止条約、APECにおいて連携している、とした。

#### イ 安倍総理との首脳会談、共同記者会見

23日、「バ」大統領は安倍総理との首脳会談後、協定署名式に参加し、共同記者会見を行った。「バ」大統領は、両国の外交関係樹立120周年事業を記念し、安倍総理に祝意を表した、と述べた。「バ」大統領は、日チリ間には2007年のEPA締結があるが、更に密な対話を続けることが必要であると、現在のEPAの対象ではない製品も含めた関税引き下げのプロセスを深めることが会談で取り上げられたと述べた。「バ」大統領は、両国は北朝鮮政策の問題の分析と軍縮・核不拡散への両国が堅固に共同していくことに特に焦点を当てた、と述べた。

#### ウ 日本・チリ・パートナーシップ・プログラム2030への署名

23日、バチレ大統領に同行して訪日したムニョス外務大臣は、河野外務大臣との会談後、2030年日本・チリ・パートナーシップ・プログラム2030への署名を行った。「ム」外務大臣は、両国は、民主主義、人権、自由貿易、持続可能な発展といった基本原則に同意しているという親和性があり、二国間関係の進展しているすばらしい瞬間である旨述べた。同時に、スポーツ協力に関する覚書への署名と2017年10月に締結されたワーキングホリデー協定の運用も正式に発表された。

#### エ 天皇陛下への御会見

26日、「バ」大統領は天皇陛下に御会見した。今上天皇は、2019年4月30日に退位される予定であり、これにより「平成」の時代が終わり、今上天皇の第1皇男子である徳仁親王が即位することとなる。

#### オ 「バ」大統領の長崎訪問

24日、「バ」大統領は長崎訪問中、原爆資料館や爆心地跡を訪れた。記者会見では、「バ」大統領は、日本とチリは、平和と安全保障の守護者であり、また核兵器不拡散・軍縮を推進していくという決意を持っているという点でも一致している旨述べた。また、北朝鮮の核実験については、この地域の安定と平和であると同時に人類にとっての脅威である北朝鮮の行為について、断固たる拒絶を再度表明した。

#### カ 小池都知事との会見

26日、「バ」大統領は小池東京都知事と会見し、その後、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に関する説明に参加した。

### (2) ムニョス外務大臣のパリ訪問（ボリビアとの「海への出口」問題）

20日、「ム」外務大臣は、ボリビアとの「海への出口」問題の口頭弁論の準備を進めている国際弁護士との会合に出席するため、パリを訪問した。アンブレロ時期外務大臣も同会合に出席した。

### (3) ベネズエラ情勢

#### ア ベネズエラ与野党間対話：チリ政府の参加無期限停止

7日、外務省はベネズエラ与野党間対話に関してプレスリリースを発売し、その中で、6、7日にドミニカ共和国で開催されたベネズエラ与野党間対話に参加し、双方間で民主的で透明な国際基準に則った大統領選挙実施の合意に至らなかったことは非常に残念であると述べた。また、民主的な大統領選挙や制度の正常化のための最低条件が合意されていないため、チリ政府はベネズエラ与野党間対話への参加を無期限に停止することを決定した旨、発表した。

#### イ ムニョス外務大臣のベネズエラ情勢に関する「リマ・グループ」会合への出席

13日、「ム」外務大臣がベネズエラ情勢に関する緊急「リマ・グループ」会合出席のためペルーを訪問した事に関して、以下の通りプレスリリースを発売した。

「ム」外務大臣は、マドゥーロ政権が一方的に実施を呼びかけた選挙は、透明で自由かつ民主的な条件を全く満たしておらず、民主的な選挙として認知するに足る保証がないと「リマ・グループ」会合に集まったラテンアメリカの大半が捉えているという明確なメッセージを発したい、と語った。同会合ではあわせてベネズエラ大統領選挙実施の一方的な決定に関する「リマ・グループ」宣言を発売した。

### (4) チリ外務省声明

#### ア 米国フロリダ州の銃撃事件に対するチリ外務省の非難声明

15日、チリ外務省は米国フロリダ州で発生した銃撃事件に対する非難声明を発表し、14日にフロリダ州パークランドの高校で発生した、17名の死者と多数の負傷者を出した銃撃事件に対し、遺憾と非難を表明した。

#### イ イスラエルにおけるアヘド・タミミ氏勾留に関する懸念表明

16日、チリ外務省は、イスラエルにて勾留されているアヘド・タミミ氏に関する状況についての懸念を表明する旨のプレスリリースを発売したところ、概要以下のとおり。

チリ政府は、暴力を扇動した容疑で勾留され、イスラエル軍事法廷にかけられているパレスチナ人、17歳のアヘド・タミミ氏の案件に関して重大な懸念を有している旨を駐チリ・イスラエル大使館に表明した。未成年の少女に影響を与えている、遺憾な状況に関し、チリ政府は駐チリ・イスラエル大使館に対して、適切なプロセスを保証しつつそのパレスチナ人未成年者の権利を完全に尊重することの必要性を改めて主張するとともに、本件調査が始まるきっかけとなった事件が置かれている緊張した状況や事情が、司法当局によって適切かつ慎重に検討されることの必要性に再度言及する。チリ政府はアヘド・タミミ氏の早期解放を期待する。

#### ウ コロンビアでのテロに対する非難声明

25日、チリ外務省は、5名の兵士の死及び多数の負傷者を出したコロンビア・ノルテ・デ・サントアンデール州における武装襲撃を断固として拒絶する旨の非難声明を発売した。